

CBR600RR PGM-FI セッティングツールの顧客様へ

CBR600RR PGM-FI セッティングツールは、ベース車両 CBR600RR をよりコンペティティブにするための HRC 製オリジナルパーツです。このセッティングマニュアルに書かれている項目以外については、HRC から発行されております CBR600RR セットアップマニュアル/パーツリスト (00X30-N1A-D10) を参照して下さい。
マシンは整備、点検を適切に行うことによって、走る、曲がる、止まる、など本来の性能が発揮されます。マニュアルを熟読の上、適切なメンテナンスを実施して下さい。

保証について

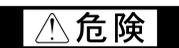
- ・ この車両は競技用として製作された車両です。一般量産車と異なり保証の対象にはなりません。また、セッティングツールを使用したことによる不具合の発生に関しても保証の対象とはなりませんのでご注意ください。

CBR600RR レーシングキットのご使用について

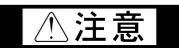
- ・ この車両は運輸省認定車両と異なりますので、一般道路（道路法に規定する道路、道路運送法に規定する自動車及び、一般交通の用に供するその他の場所 <道路運送車両法第2条第6項、道路交通法第2条第1項>）を走りますと道路運送車両法、及び道路交通法の違反となります。従って一般道路での走行は出来ません。また、私道、社寺の境内、公園、海辺、農道、林道、堤防上など、いわゆる道路としての形態を整えていない場所でも、人や車が自由に出入り出来るところは一般の道路とみなされます。「競技用走路として許可された場所」のみでご利用下さい。

安全に関する表示について

本書では、運転者や他の人が傷害を負ったりする可能性のある事柄を下記表示を使って記載し、その危険性や回避方法を説明しています。これらは安全上特に重要な項目です。必ずお読みいただき指示に従ってください。

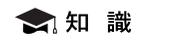
 **危険** 指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至るもの

 **警告** 指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの

 **注意** 指示に従わないと、傷害を受ける可能性があるもの

その他の表示について

 **アドバイス** 製品のために守っていただきたいこと

 **知識** 知っておいていただきたいこと。知っておくと便利なこと

HRC CBR600RR PGM-FI セッティングツールマニュアル

CBR600RR PGM-FI セッティングツールは、ベース車両 CBR600RR をよりコンペティティブにするための HRC 製オリジナルパーツです。



本書の見方

本文中のメニュー画面やファイル名の年度表示は 07 と表記されていますが、08 に読み替えて使用してください。

使用上の注意

- ・このセッティングツールは HRC 以外のパーツとの併用には適合しません。

PGM-FI セッティングツール

- ・シリアルインターフェースユニット Assy.またはシリアルインターフェースユニット Assy. (USB)
- ・ソフトウェア CD-ROM/セッティングマニュアル (本書)

整備上の注意

- ・排気ガスには有害成分が含まれているため、閉め切った場所や通気の悪い場所で長時間エンジンをかけないこと。
- ・エンジン停止直後は、エンジン、エキゾーストパイプなどが熱くなっており、素手で触れると火傷をする事があるので注意すること。整備を行う場合は、長袖の作業服や手袋で保護して作業すること。
- ・整備に適した作業着 (ツナギなど)、帽子、安全靴を必ず着用し、必要に応じて防塵眼鏡や防塵マスク、手袋など保護用具を着用すること。
- ・ガソリンは非常に引火しやすいため、作業場所は火気厳禁のこと。裸火だけでなく、電気のスパークによる火花にも十分に注意すること。また蒸発 (気化) したガソリンは爆発の危険もあり、通気の良い場所で作業することを習慣づけること。
- ・ドライブチェーン、スプロケットなどの回転部分や可動部品には、手や衣服をはさまないように常に注意しながら作業すること。
- ・2 名以上で作業する場合は、必ずお互いに声を掛け合うなどして安全を確認し合うこと。

注意

エキゾーストパイプ、エンジンなどは、エンジン回転中および停止直後、熱くなっている。この時エキゾーストパイプ、エンジンなどに触れるとヤケドを負う可能性がある。

- ・エンジン回転中および停止直後は、エキゾーストパイプ、エンジンなどに触れないこと。
- ・他の方がエキゾーストパイプ、エンジンなどに触れることのできない場所に駐車のこと。

本書では PC 通信による PGM-FI のセッティング方法を案内しています。

PGM-FI セッティング

アプリケーションの動作環境および使用部品

1. 動作環境

IBM AT 互換マシン

- OS : Windows 98/Me/2000/XP
- CPU : Pentium 200MHz 以上 (推奨)
- メインメモリ : 32MB 以上 (推奨)
- 表示能力 : 1024 × 768 以上の解像度、256 色以上の発色能力
- CD-ROM : ドライブを有していること (製品は CD-R で提供される)
- シリアルポート : シリアルポートを有していること (ECU との通信に使用する)
USB ポートのない場合、USB - RS232C 変換アダプタを使用
または USB タイプのシリアルインターフェースユニットを使用



2. セット使用部品

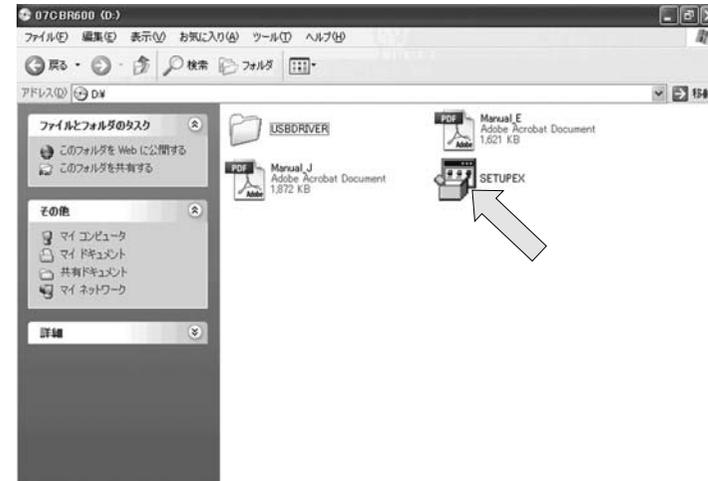
- UNIT, ASSY SERIAL I/F : 38880-NL3-750 または
- UNIT, ASSY SERIAL I/F (USB) : 38880-NL9-C00



USB ドライバはセットアップ CD-ROM に入っているものを使用するか、HRC ホームページ (<http://www.honda.co.jp/HRC/>) よりダウンロードしてインストールしてください。

ソフトウェアのインストール

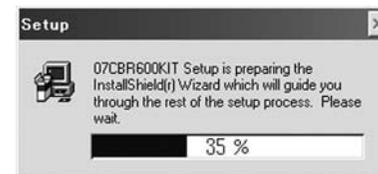
1. ソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。
2. CD-ROM アイコンをクリックすると、下図のようなウィンドーが開きますのでインストールを行う場合は "SETUP.EXE" をダブルクリックします。



3. インストールを開始する場合は "はい (Y)" をクリックします。



4. 下記の様なウィンドーが表示されセットアップの準備が行われます。



PGM-FI セットアップ

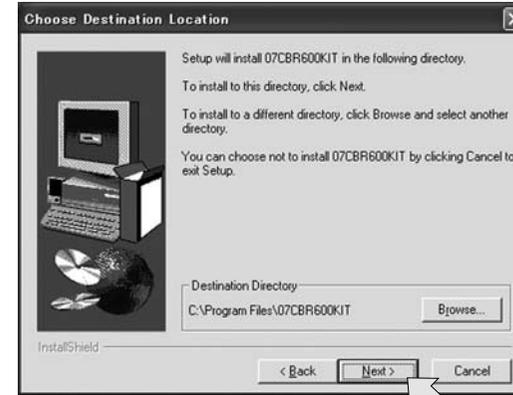
5.次に下記のような画面が現れます。セットアップを継続する場合は"Next"をクリックします。

注意：

開始する前に他のプログラムは終了しておくこと。



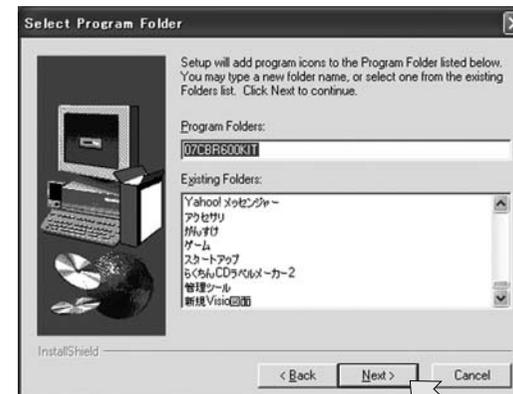
7.ここでインストールするディレクトリを聞いてきます。特に変更が無ければ"Next"をクリックします。



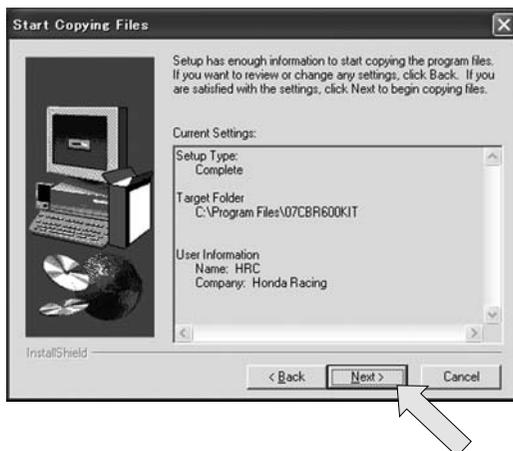
6.Windows XPを使用している場合、User Information ウィンドーが表示されますので、"Next"をクリックします。



8.インストールするプログラムフォルダを確認し、"Next"をクリックします。



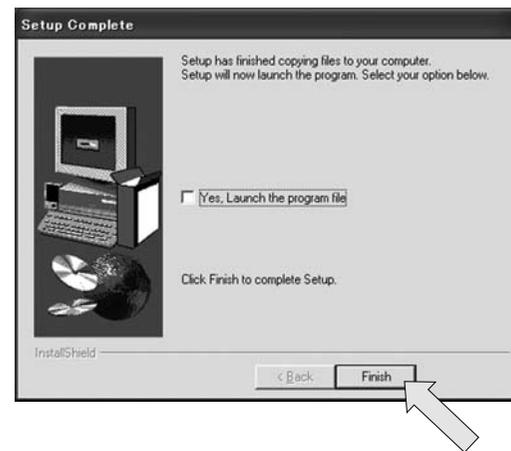
9. インストールするフォルダ及び名前等の確認をします。
間違いが無ければ “Next” をクリックします。



10. 以下のウィンドウが表示され、インストールが行われます。



11. 以上でインストール終了ですので、“Finish” をクリックします。



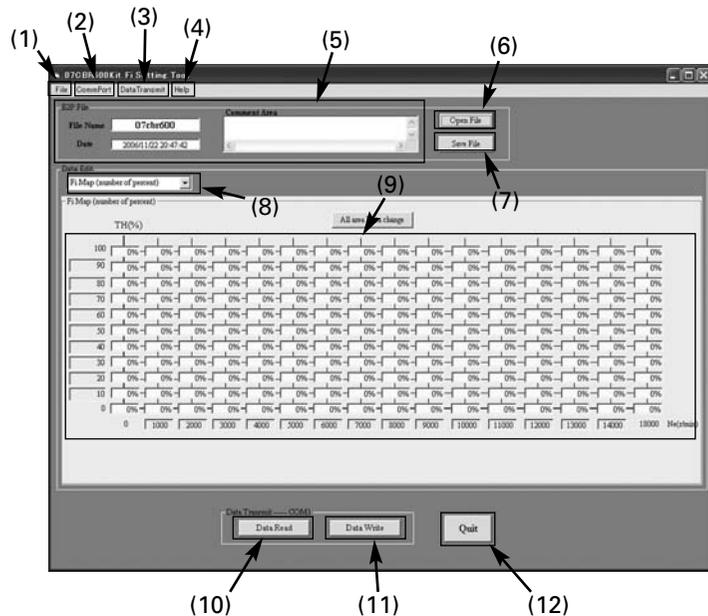
- インストールが終了すると、下図のショートカットのフォルダが開きます。
デスクトップ等へ移動してお使いください。



PGM-FI セットアップ

操作画面

セットアップツールを起動すると下記のウィンドウが開きます。



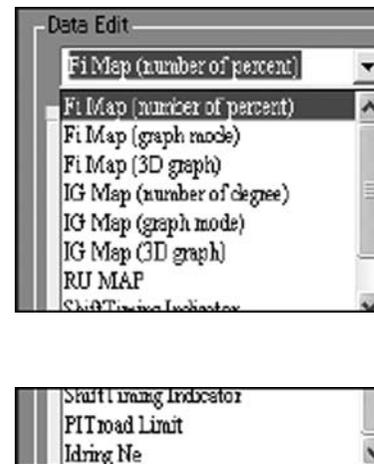
(注：説明の為、起動時の画面と一部が異なります。)

No.	名称	機能
(1)	File メニュー	過去に保存したセットアップデータの読み込み/保存
(2)	COM ポート	通信 COM ポートの選択 (デフォルトは COM1)
(3)	データ書き込み (読み込み/書き込み)	セットアップデータを ECU から転送 セットアップデータを ECU へ転送
(4)	ヘルプ	ツールのバージョン表示
(5)	ファイル情報表示	セットアップファイルの情報を表示
(6)	ファイルロード	過去に保存したセットアップデータの読み込み
(7)	ファイルセーブ	変更したセットアップデータを保存
(8)	選択メニュー	変更項目の表示
(9)	データ表示エリア	セットアップデータの表示
(10)	データ読み込み	セットアップデータを ECU から転送
(11)	データ書き込み	セットアップデータを ECU へ転送
(12)	終了	データ保存なしで終了

ご使用になる前に

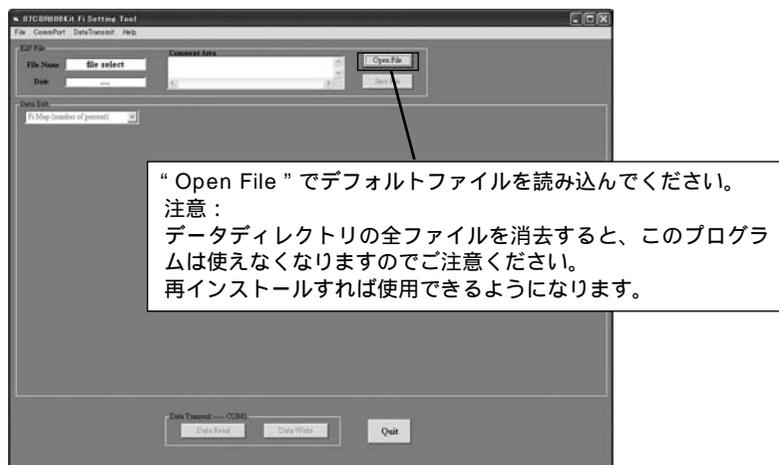
プルダウンメニューについて

No.8 の選択メニューはプルダウンメニューになっています。



上図の “ ” をクリックすると下にメニューが現れます。
各種項目は、ここで切り替えます。
反転表示になっているところが選択されます。

はじめて起動した場合
下図のように何も表示されません。



次回、起動すると前回ご使用になった最後のファイルが自動に開きます。

重要

上記の時、“ Open file ” でデフォルトファイルが表示されない場合があります。
トラブルシューティング No.4 を参照ください。

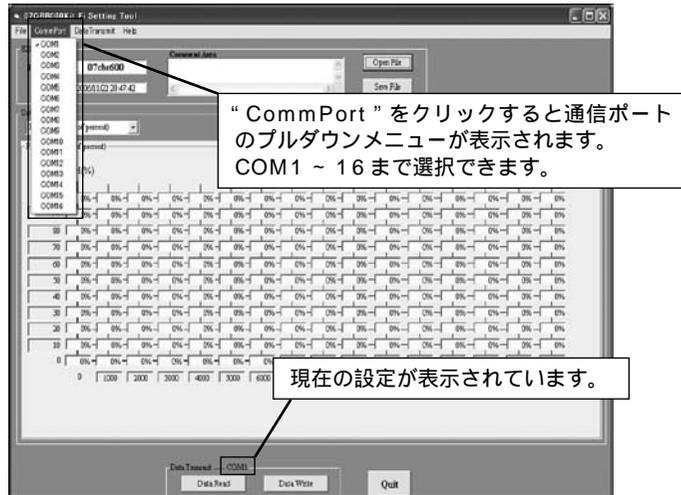
ファイルメニュー



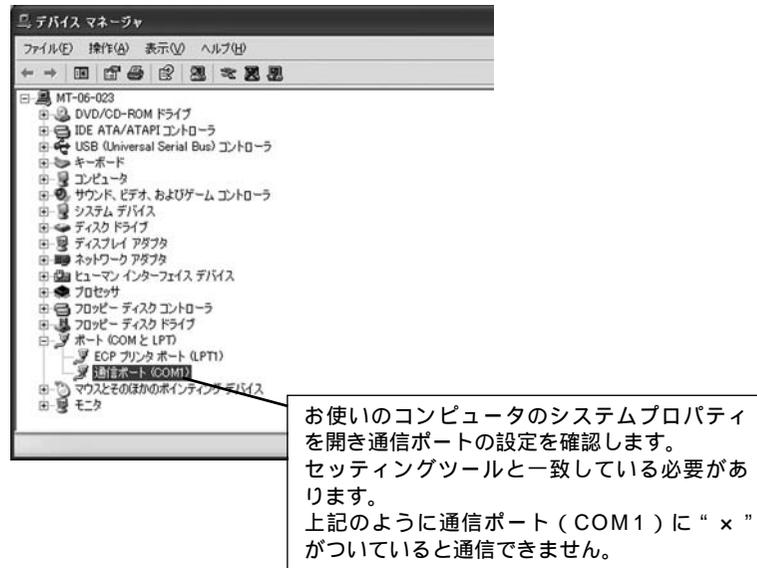
- 「OpenFile...」 ファイルロード（Open File）ボタンと同じ機能です。データファイルを読み込みます。
- 「SaveFile...」 ファイル保存（Save File）ボタンと同じ機能です。編集データをデータファイルに書き出します。
- 「Quit」 本ツール画面を終了します。クローズボックスも同様の機能です。

PGM-FI セットアップ

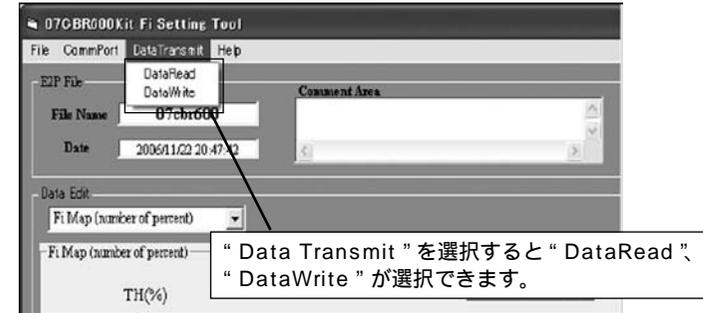
通信ポート (COM ポート) の確認



システムのプロパティの確認

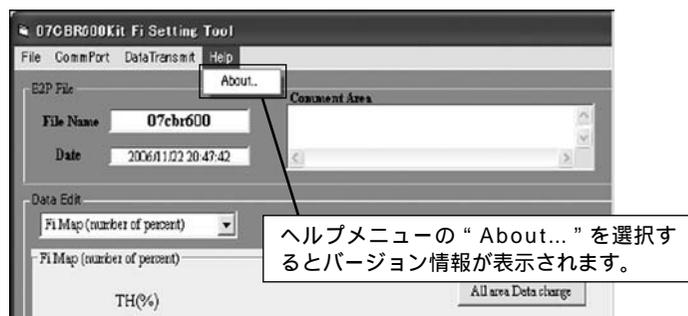


データ送受信メニュー



- 「DataRead」 データ読み込み (Data Read) ボタンと同じ機能です。ECU よりデータを読み込みます。
- 「DataWrite」 データ書き込み (Data Write) ボタンと同じ機能です。編集データを ECU に書き込みます。

ヘルプメニュー



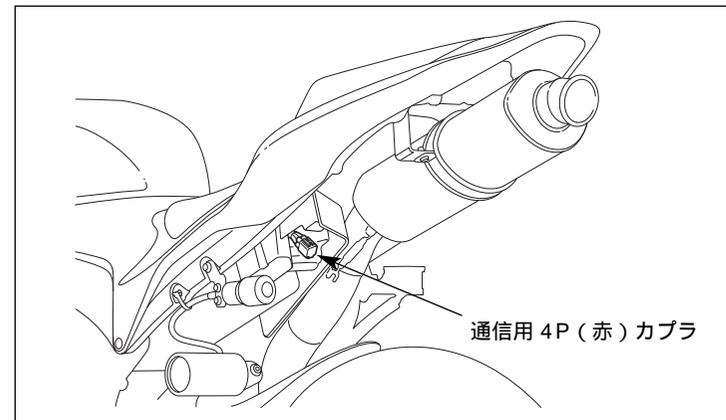
PGM-FI セッティング

本体との接続

1. UNIT,ASSY SERIAL I/F: 38880-NL3-750 をコンピューターのシリアルポートへ、または UNIT,ASSY SERIAL I/F (USB): 38880-NL9-C00 を USB ポートに接続します。



2. 赤のカブラをレギュレート/レクチファイヤの近くにある通信用 4P (赤) カブラへ接続すれば通信準備が完了します。



注意:

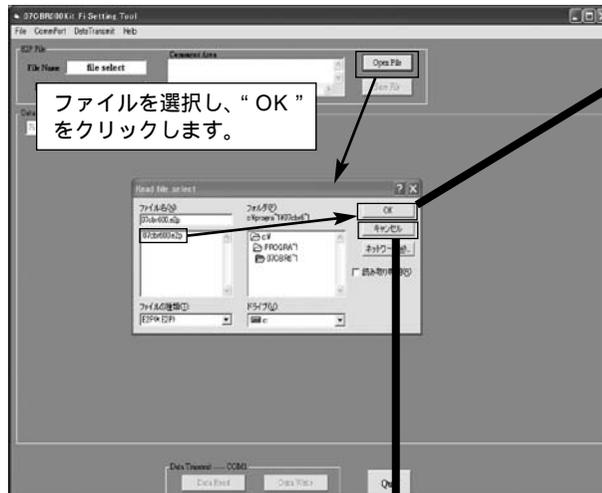
- ・ セッティングコードを取り付けたまま走行しないでください。
- ・ セッティング終了後、通信用カブラをカウル内に確実に収納すること。

セッティング変更時のみお使いください。

ファイル操作

1. ファイルロード (Open File)

"Open File"をクリックすると読み込むファイルのウィンドが開きます。
目的のファイルを選択しOKをクリックするとデータが読み込まれます。



OK ボタン

正常読み込み時
読み込んだデータを編集画面に展開します。

読み込みエラー時



・ 指定の E2P ファイル名が無い時、上記のメッセージが表示されます。



・ ベース車両の年式違いの E2P を開いた時、上記のメッセージが表示されます。
トラブルシューティング No.5 を参照して下さい。



・ E2P ファイルの読み込み時の書式エラーの時、上記のメッセージが表示されます。
トラブルシューティング No.6 を参照して下さい。

キャンセルボタン



・ ファイルロードを中止した場合、上記のウィンドウが表示されます。
継続するには"OK"をクリックします。

注意：

- ・ 表示されているファイルはデフォルトデータです。(07cbr600.e2p)
- ・ セッティングに迷ったり、エンジン不調等の症状がある場合は、ベース車両の年式用上記デフォルトファイルを ECU に書き込んで ECU を出荷時の状態に戻してください。

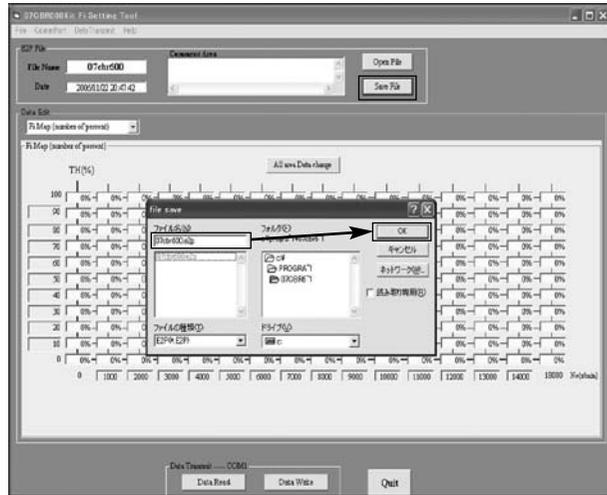
PGM-FI セットアップ

2.ファイル保存 (Save File)

"Save File"をクリックするとファイルのウィンドーが開きファイルネーム入力を要求してきます。

任意のファイルネームを入力し、OK をクリックすると保存されます。

注：ファイルネームに使える文字数に 8 文字の制限があります。



ファイルネーム入力時の注意点

注：“.e2p”の前にカーソルを移動しファイルネームを入力すること。

拡張子 (.e2p) を消すと次に読み込めなくなります。(再表示されません)



OK ボタン

正常保存時



・ E2P ファイルへの保存が完了した時、上記のウィンドウが表示されます。

保存エラー時



・ ファイルネームが 8 文字を超えた場合、上記のウィンドウが表示されます。正しいファイル名を再入力してください。

キャンセルボタン

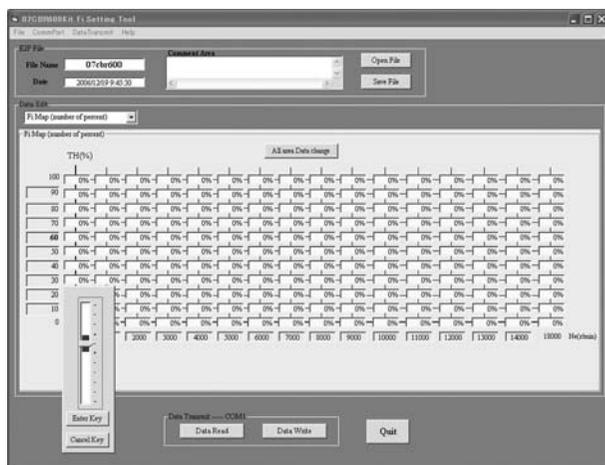


・ ファイル保存を中止した場合、上記のウィンドウが表示されます。継続するには"OK"をクリックします。

セッティング変更の概要

TH 区分点変更

TH の区分点を任意に変更することが出来ます。



TH 区分点、例えば 60% をクリックすると上図のようなスケールが表示されます。両端 (0、100%) を除く 8 ポイントを変更できます。変更はマウス or キーにて行い "Enter Key" で確定します。変更中止は "Cancel Key" をクリックします。変更できる範囲はスケールのゾーン内です。



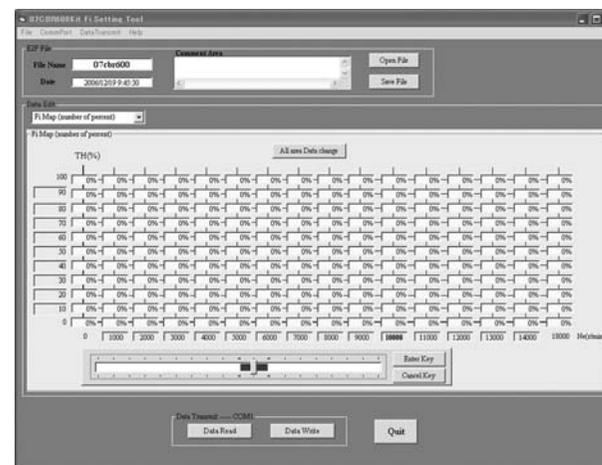
注意：

TH 区分点を変更すると、FI マップ、IG マップの両方が変更されます。独立した設定はできません。

(逆に "IG Map (number of degree)" で TH 区分点の変更時には "Fi Map (number of percent)" 画面に反映されます)

エンジン回転区分点変更

エンジン回転の区分点を任意に変更することが出来ます。



TH 区分点と同様にエンジン回転の区分点も変更できます。例えば、10,000 rpm をクリックすると上図のようなスケールが表示されます。両端 (0、18,000 rpm) を除く 14 ポイントを変更できます。

変更はマウス or キーにて行い "Enter Key" で確定します。変更できる範囲はスケールのゾーン内です。

ここでの区分点の変更は点火時期変更へも反映されます。但し、混合比マップ、点火時期マップそれぞれ独立して区分点の設定は出来ません。



注意：

TH 及びエンジン回転数の区分点変更は "Fi Map" 画面のみ行うことが出来ます。

(逆に "IG Map (number of degree)" でエンジン回転の区分点の変更時には "Fi Map (number of percent)" 画面に反映されます)

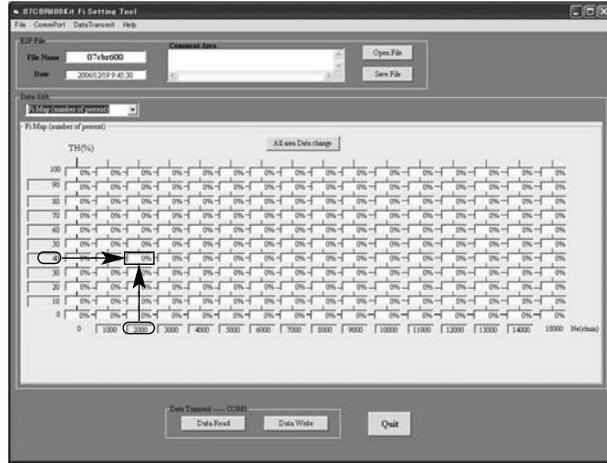
PGM-FI セットアップ

セットアップ変更手順

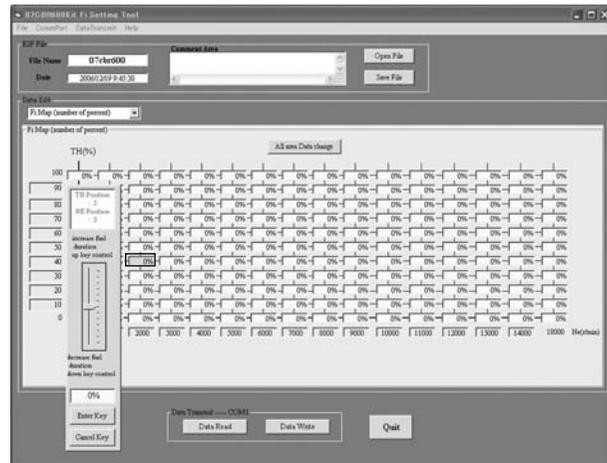
混合比変更は"Fi Map (number of percent)"マップ表示と " Fi Map (graph mode)" グラフ表示の 2 種類が選択できます。

1.混合比変更 (マップ表示の場合)【 Fi Map(number of percent)】

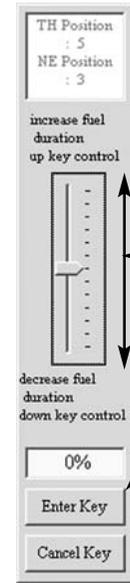
“ Fi Map(number of percent) ” を選択すると下図のような画面になります。
データを変更するには目的の TH 開度、エンジン回転数の交差するポイントをクリックします。



クリックすると下記のスケールが現れます。

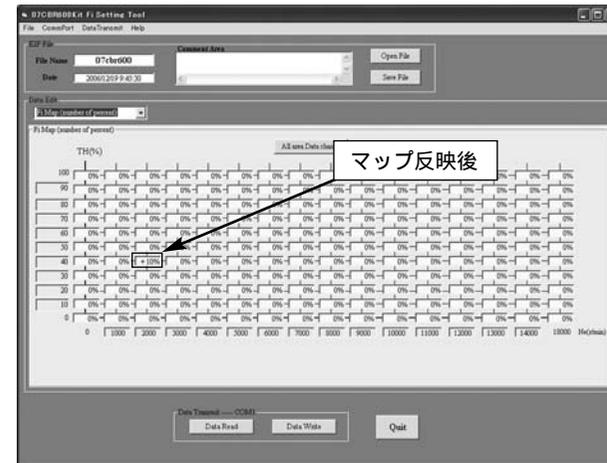


混合比の変更方法

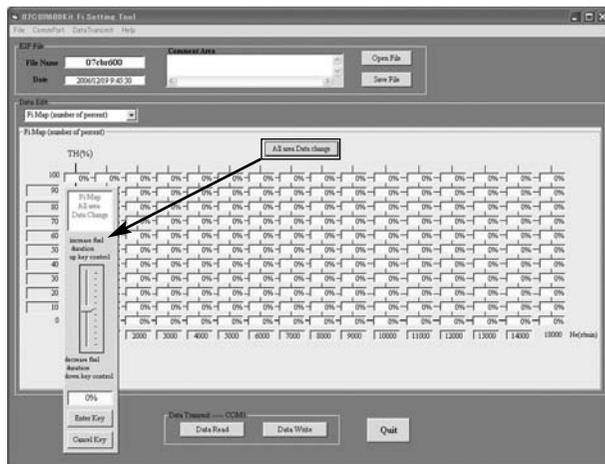


変更はマウスまたは キーにて行います。
変更は “ Enter Key ” にてマップに反映されます。
変更中止は “ Cancel Key ” をクリックします。

変更量は 0% を基準に ± 30% まで可能です。
0% はスタンダードのセットアップになります。



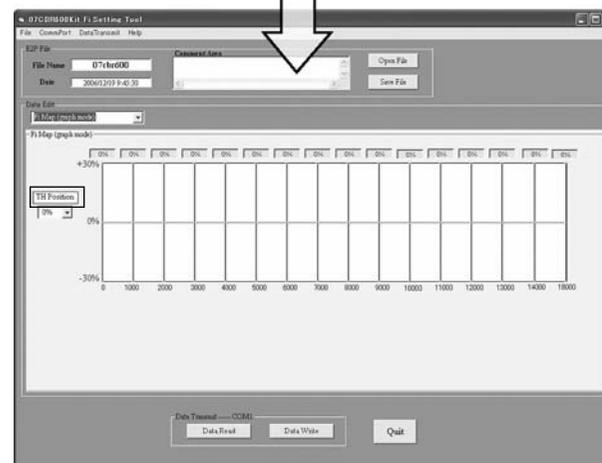
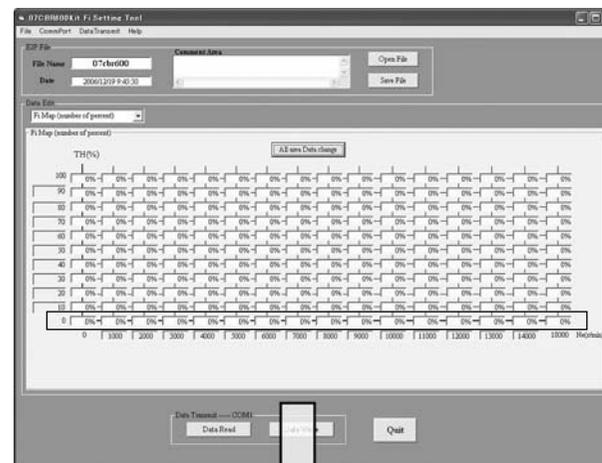
全域一律変更の方法



"All area Data change"をクリックすると上記の画面となります。
 全域オフセットすることが可能となり"Enter"キーで反映されます。
 但し、全域同じデータとなりますのでご注意ください。

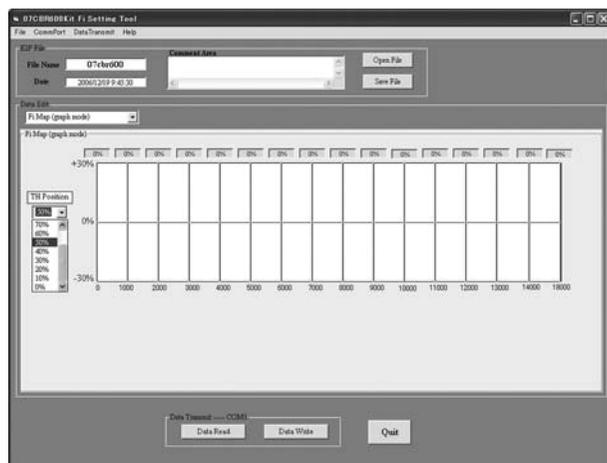
2. 混合比変更 (グラフ表示の場合)

グラフモードはマップ表示の横軸をグラフ化したものです。



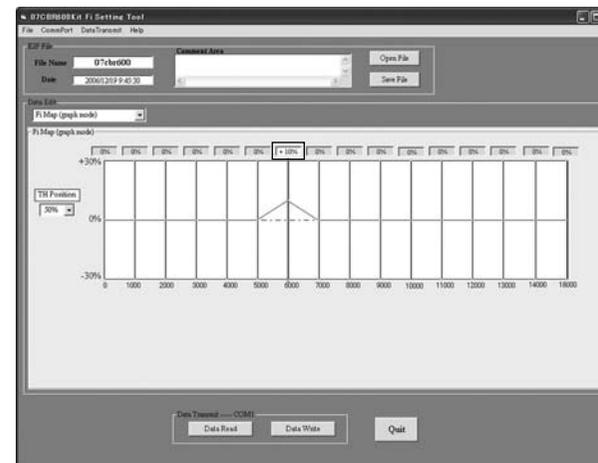
PGM-FI セッティング

“Fi Map (graph mode)” を選択すると下図のような画面になります。



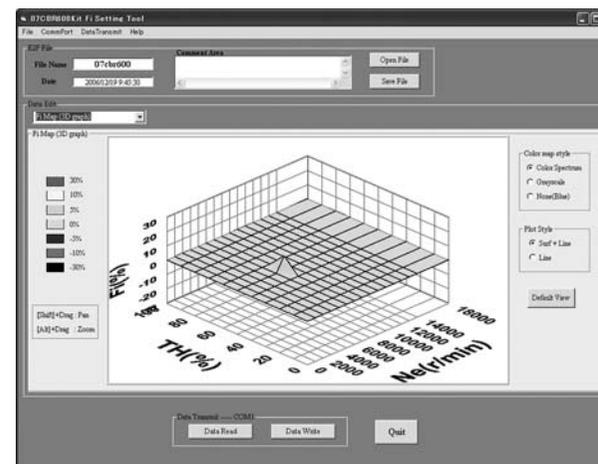
データを変更するには目的のTH開度を選択します。
TH開度別にエンジン回転数方向に、現在の設定状態がグラフで表示されます。
ここで変更したいエンジン回転数の補正量表示をクリックします。

変更可能部分が選択され色が変わります。変更は **Enter** キーにて行います。
変更内容はマップ表示にも反映されます。

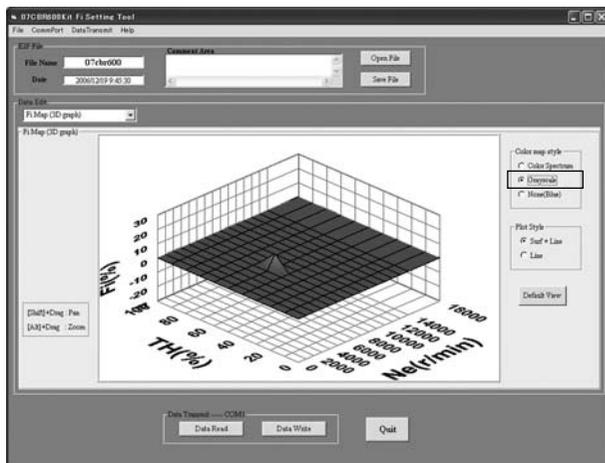


“Fi Map (3D graph)”

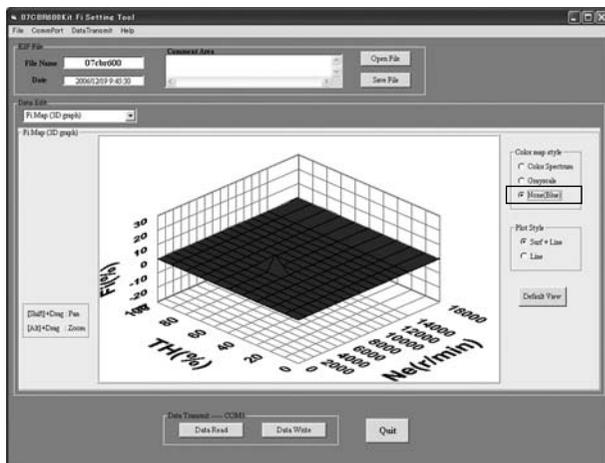
【Fi Map (3D graph)】を選択すると下図のような画面になります。
画面の両側にある説明に従って、グラフの色およびグラフの縮小、拡大ができます。



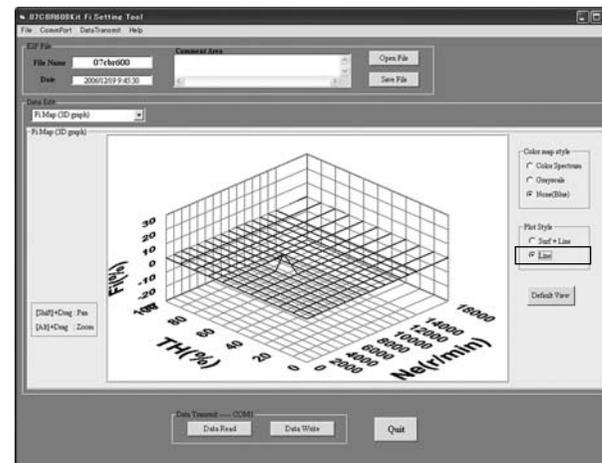
グレースケール【Grayscale】
グレースケールで表示します。(PlotStyleのLineは選択できません)



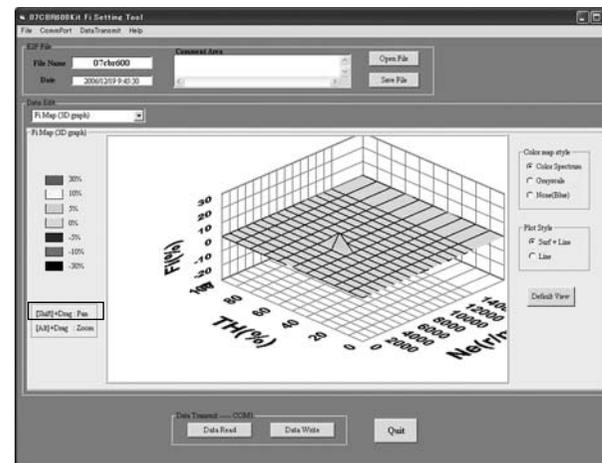
単色 (ブルー)【None (Blue)】
単色 (青) で表示します。



線表示【Line】
線のみで表示します。(Color map styleは自動的にNone (Blue)になります)



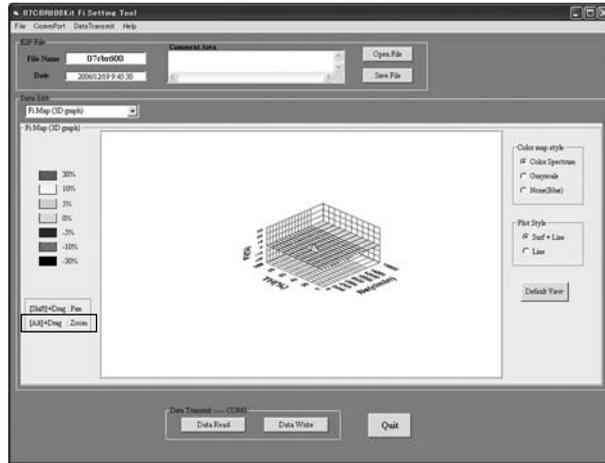
移動
[Shift] + Drag でグラフの移動をします。また、Drag のみではグラフの回転をします。



PGM-FI セットアップ

拡大縮小

[Alt] + Drag でグラフの拡大、縮小をします。



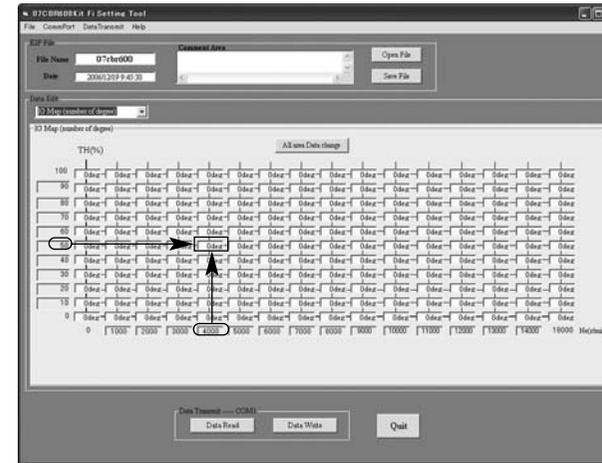
3. 点火時期変更

点火時期変更は“IG Map (number of degree)”と“IG Map (graph mode)”の2種類が選択できます。

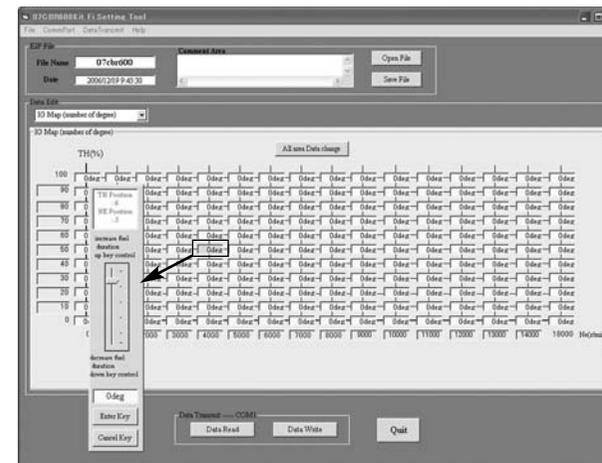
点火時期変更（マップ表示の場合）

“IG Map”を選択すると下図のような画面になります。

データを変更するには目的のTH開度、エンジン回転数の交差するポイントをクリックします。



クリックすると下記のスケールが現れます。



点火時期変更方法

TH Position : 6
NE Position : 5

increase fuel duration up key control

decrease fuel duration down key control

0deg

Enter Key

Cancel Key

変更はマウスまたはキーにて行います。
変更は“Enter Key”にてマップに反映されます。
変更中止は“Cancel Key”をクリックします。

変更量は0%を基準に3%~20%まで可能です。
0%はスタンダードのセッティングになります。

W: PGM-FI Setting Tool

File: Control Data Transfer Help

File Name: 07chr000

Date: 2006/10/9 4:30

13 Map (number of degree)

TH (%)

All Area Data Change

マップ反映後

Data Transfer: CCMI

Data Read Data Write Quit

全域一律変更の方法

W: PGM-FI Setting Tool

File: Control Data Transfer Help

File Name: 07chr000

Date: 2006/10/9 4:30

13 Map (number of degree)

TH (%)

All Area Data Change

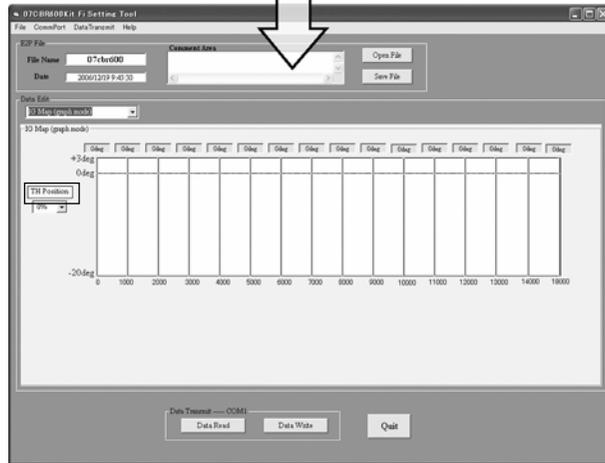
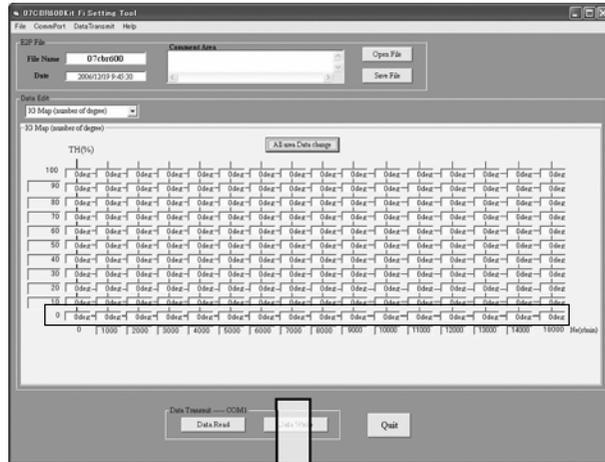
Data Transfer: CCMI

Data Read Data Write Quit

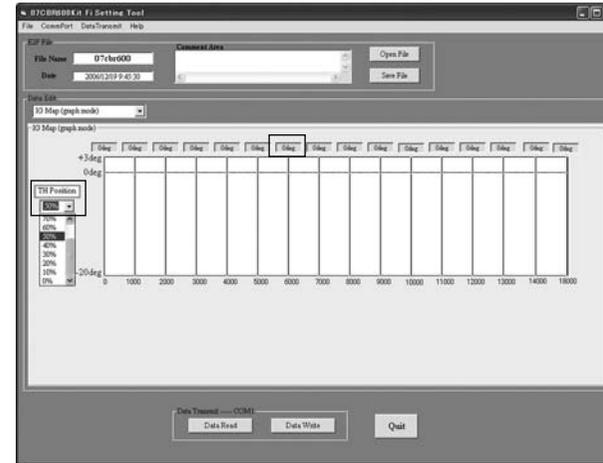
"All area Data change"をクリックすると上記の画面となり、全域オフセットすることが可能となります。
"Enter Key"を押すと変更が反映されます。
但し、全域同じデータとなりますのでご注意ください。

PGM-FI セッティング

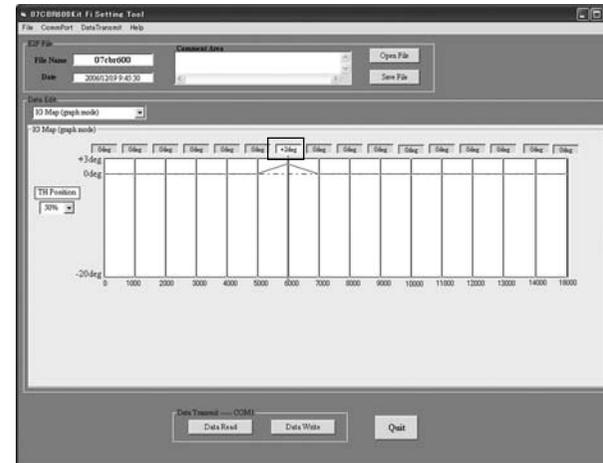
点火時期変更（グラフ表示の場合）【IG Map (graph mode)】
グラフモードはマップ表示の横軸をグラフ化したものです。



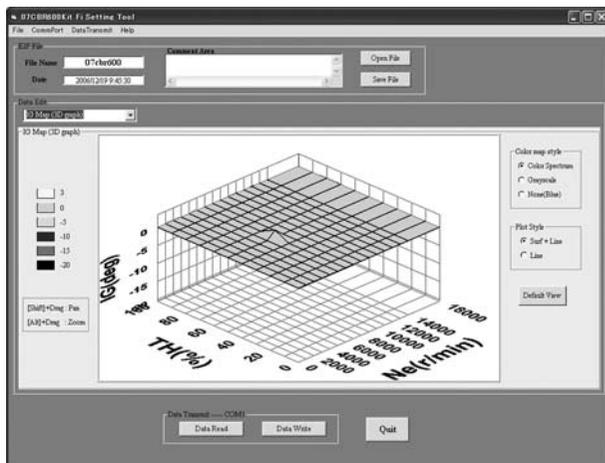
"IG Map (graph mode)"を選択すると下図のような画面になります。



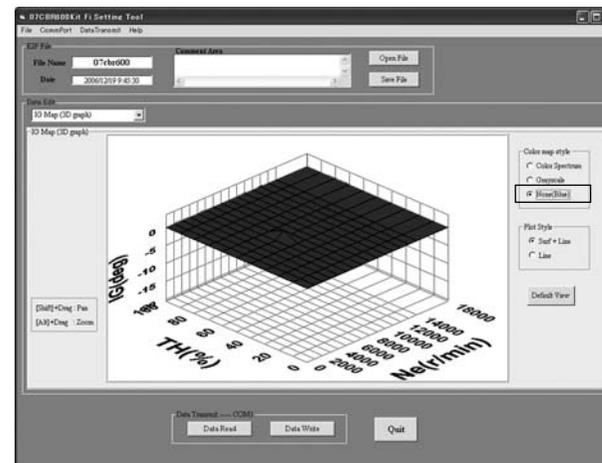
データを変更するには目的のTH開度を選択します。
現在の設定状態がTH開度毎にエンジン回転数方向にグラフで表示されます。
ここで変更したいエンジン回転数の補正量表示をクリックします。



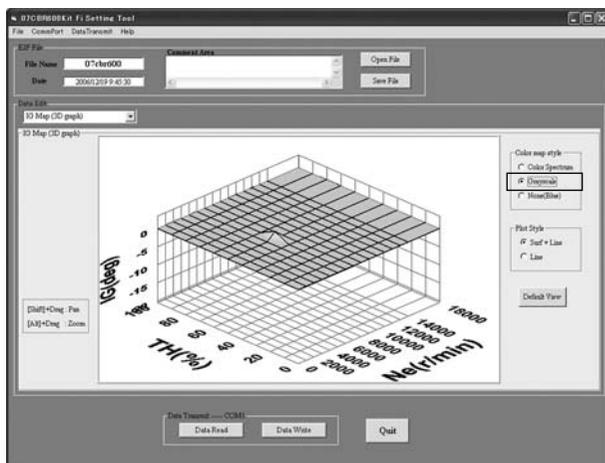
"IG Map (3D graph)" を選択すると下図のような画面になります。
画面の両側にある説明に従って、グラフの色およびグラフの縮小、拡大ができます。



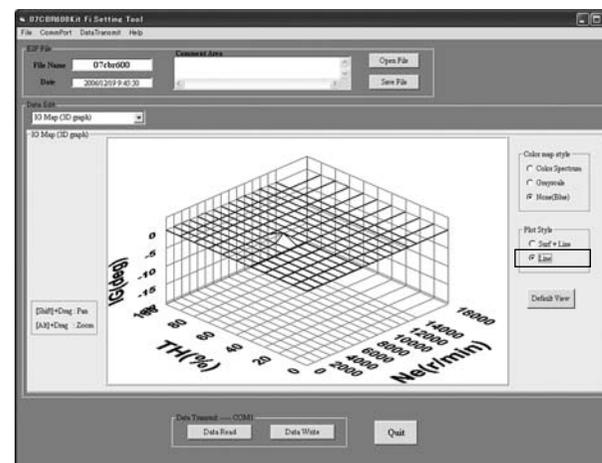
単色 (ブルー) 【None (Blue)】
単色 (青) で表示します。



グレースケール【Grayscale】
グレースケールで表示します。(PlotStyle の Line は選択できません)



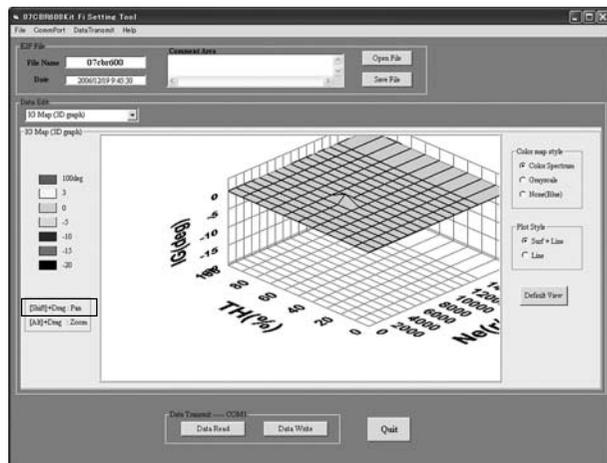
線表示【Line】
線のみで表示します。(Color map style は自動的に None (Blue) になります)



PGM-FI セッティング

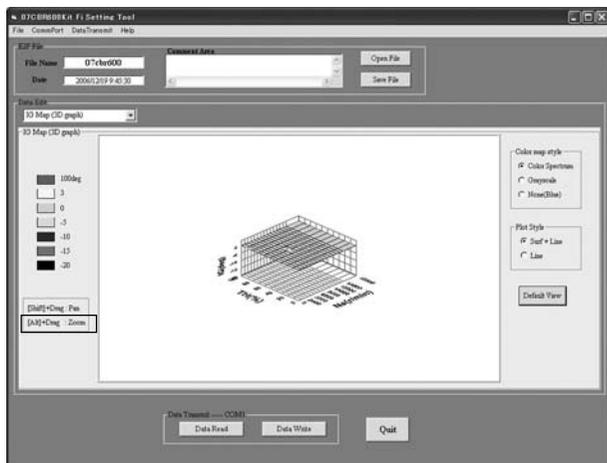
移動

[Shift] + Drag でグラフの移動をします。また、Drag のみではグラフの回転をします。



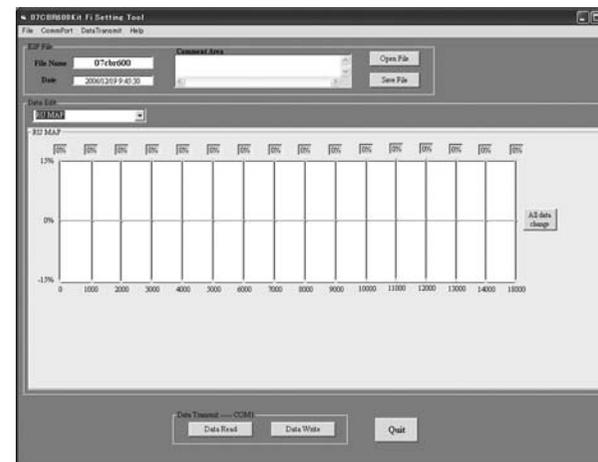
拡大縮小

[Alt] + Drag でグラフの拡大、縮小をします。



アップインジェクタの燃料供給率の変更

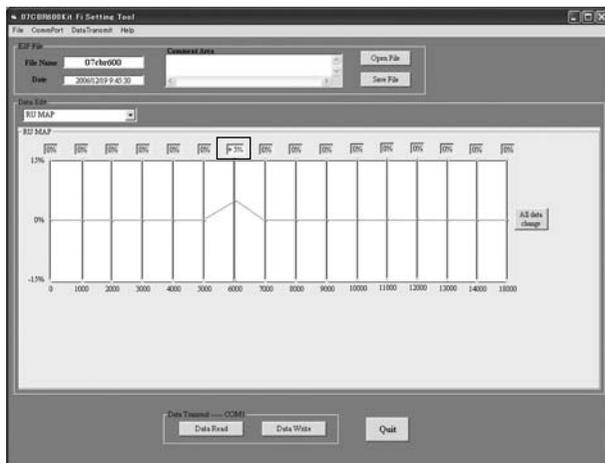
選択メニューをクリックすると、下記のプルダウンメニューが現れます。プルダウンメニューから「RU MAP」をクリックすると下図のような画面になります。アップ、ロアインジェクタの燃料供給量の比率を変更することが出来ます。



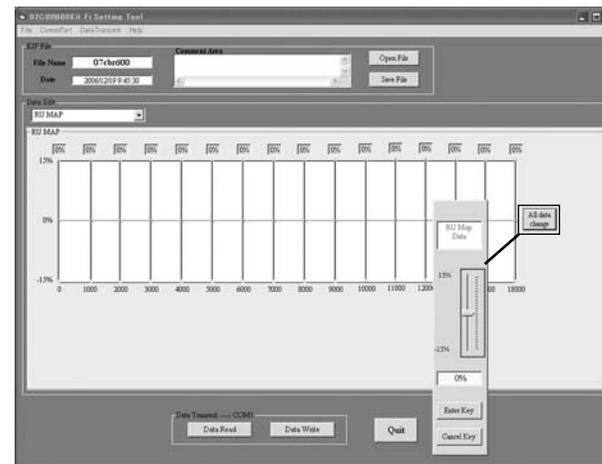
データを変更するには目的の Upper INJ 噴射量比率の補正値を選択します。Upper INJ 噴射量比率の補正値別にエンジン回転数方向に、現在の設定状態がグラフで表示されます。

ここで変更したいエンジン回転数の補正量表示をクリックします。

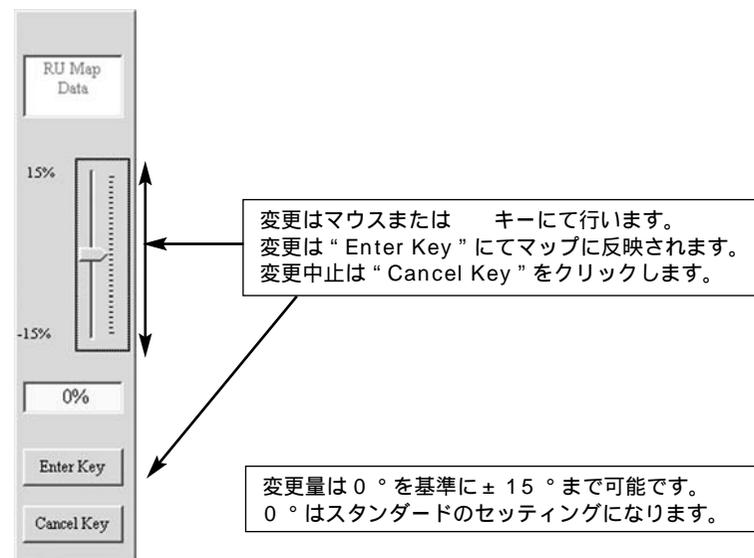
変更可能部分が選択され色が変わります。変更は **Enter** キーにて行います。変更内容はマップ表示にも反映されます。



全域一律変更の方法



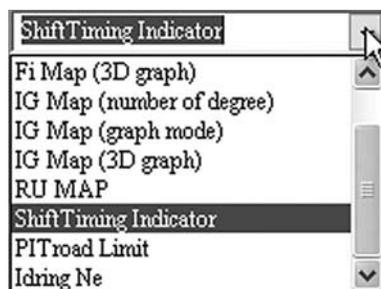
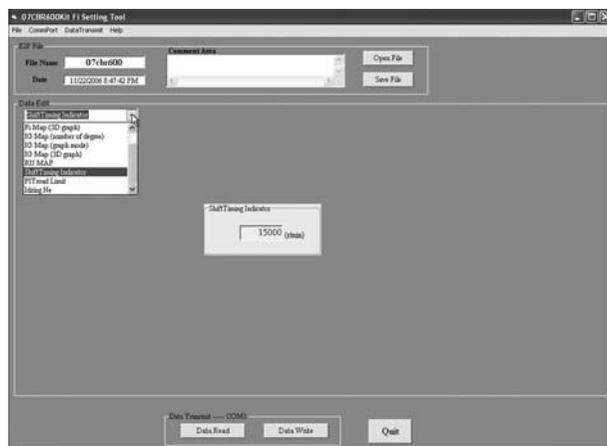
All data change をクリックすると上記の画面となり、全域オフセットすることが可能となり "Enter Key" で反映されます。但し、全域同じデータとなりますのでご注意ください。



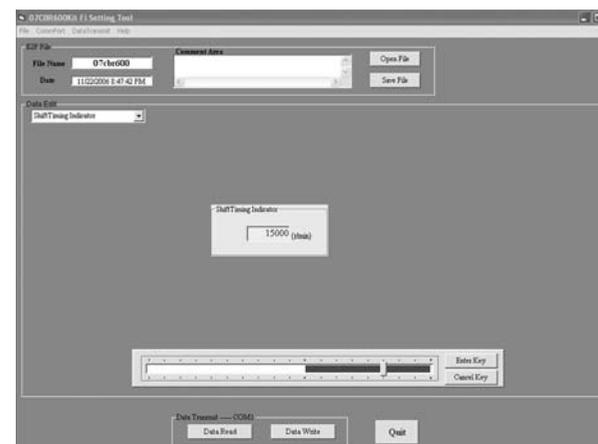
PGM-FI セットアップ

ShiftTiming Indicator

選択メニューをクリックすると、下記のプルダウンメニューが現れます。
プルダウンメニューから「ShiftTiming Indicator」をクリックします。



設定したい回転数を入力します。

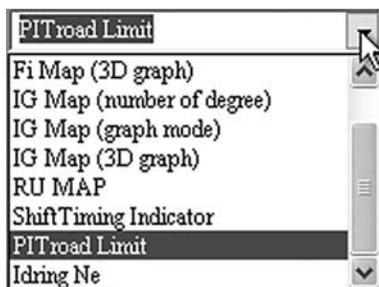
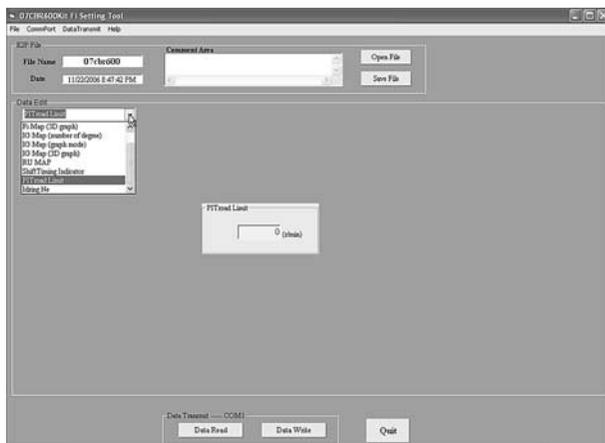


ShiftTiming Indicator の設定は 10,000 ~ 18,000 (r/min) の範囲で設定できます。
変更はマウスまたは キーにて行い"Enter Key"で確定します。
変更できる範囲はスケールのゾーン内です。

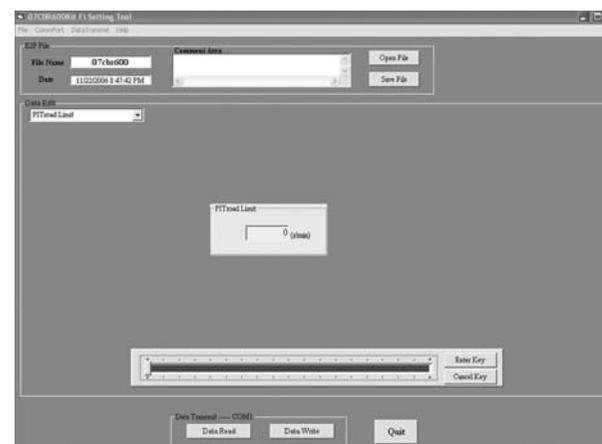


ピットレーンスピード制御

選択メニューをクリックすると、下記のプルダウンメニューが現れます。
プルダウンメニューから「PITroad Limit」をクリックします。



下記のセルをクリックすると、下記のスケールが現れます。



噴射カットさせる回転数を設定します。
PIT road Limit の設定は 0 ~ 18,000 (r/min) の範囲で設定できます。

設定はマウスまたは キーを操作して行います。
設定値は “Enter Key” でマップに反映されます。
変更を中止する場合は、“Cancel Key” をクリックします。



PGM-FI セッティング

エンジン回転数の計算

エンジン回転数 = 車速 (km/h) × 1,000 / 60 / タイヤ周長 (m) × プライマリレシオ ×
ミッションレシオ × ファイナルレシオ

計算例 : クロスミッション、ファイナルレシオ 16/43

7,184 rpm = 60 km/h × 1,000 ÷ 60 ÷ 2.0 × 2.111 × 2.533 × 2.687

計算値の対してタイヤの周長のばらつきなどの条件によって速度は変化しますので、実際のスピードを計測することを推奨します。

ピットレーンが下りの場合、計算より高めにスピードが出ますので、計算より約 200 rpm 低めに回転数に設定することを推奨します。

プライマリレシオ

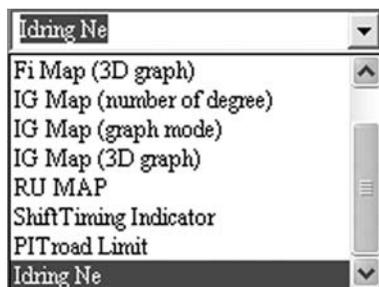
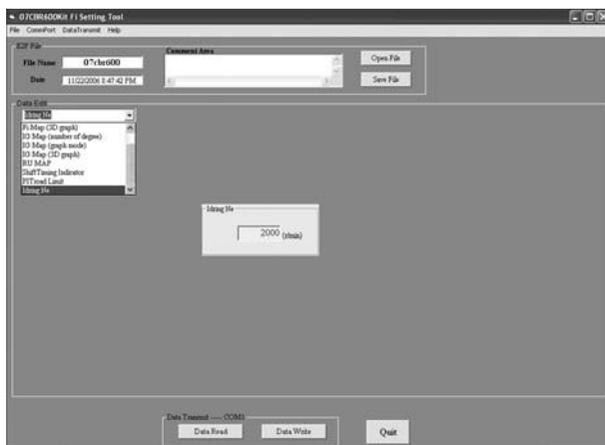
ギヤ数	レシオ
36/76	2.111

ミッションレシオ

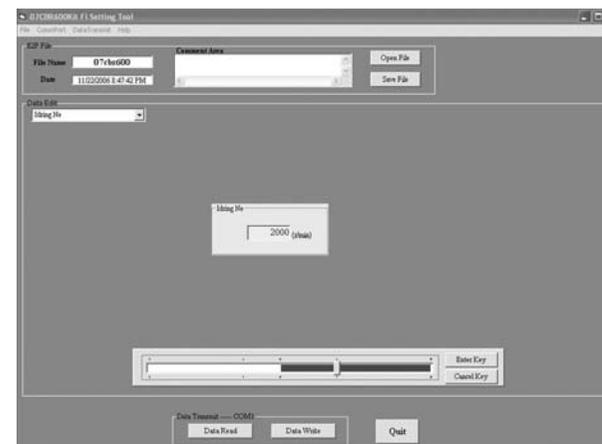
	STD ミッション		レーシングキット	
	ギヤ数	レシオ	ギヤ数	レシオ
1 速	12/33	2.750	15/39	2.600
2 速	16/32	2.000	16/32	2.000

アイドル回転【Idling Ne】

選択メニューをクリックすると、下記のプルダウンメニューが現れます。
プルダウンメニューから「Idling Ne」をクリックします。



下記のセルをクリックすると、下記のスケールが現れます。



アイドル回転（Ne）の設定は、1,400 ~ 3,000（r/min）の範囲で設定できます。
変更はマウス or キーにて行い、"Enter Key"で確定します。
変更できる範囲はスケールのゾーン内です。
設定は200（r/min）ステップとなります。

🎓 知識

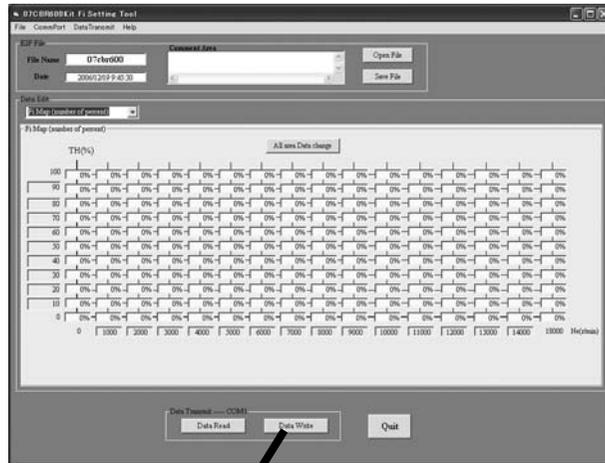
実際のアイドル回転数はレーザー車の仕様・状態により、セッティングツールの設定値とずれる場合があります



PGM-FI セッティング

セッティングデータの転送

データ送信 (PC → ECU)
ツールの設定情報を ECU に転送します。



“データ書き込み”【Data Write】をクリックすると、下図のウィンドウが表示されます。



キルスイッチを OFF にしてから “OK” をクリックすると下図のウィンドウが表示されます。



キルスイッチを ON にしてから “OK” をクリックします。(2 秒以内)



正常に通信が完了すれば図のウィンドウが表示されますので、キルスイッチを OFF にします。

通信が正常に行われなかった場合は、下図のウィンドウが表示されます。
接続、および通信設定を確認の上、もう一度 “データ書き込み” をクリックしてデータ送信をやり直してください。



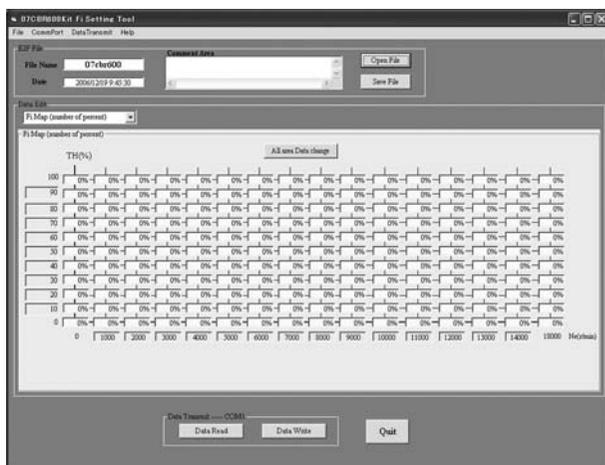
異なるベース車両のデータ書き込み時のメッセージです。
E2P データ、年式メニューを確認の上、もう一度 “データ書き込み” をクリックしてデータ送信をやり直してください。



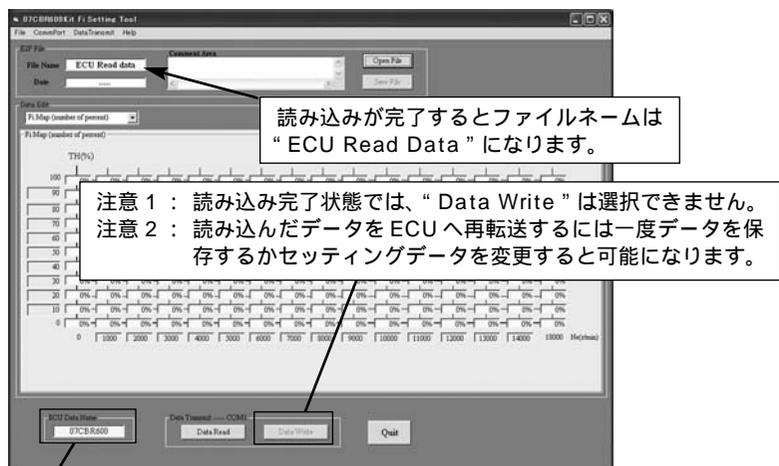
データ転送終了後、シリアルインターフェースユニット Assy. を車体から取り外します。

データ受信 (ECU ← PC)

"Data Read"をクリックするとECUの設定データが引き出すことができます。



Data Writeと同様の手順の後、通信が完了すると下図のようになります。



表示内容が ECU 内のセッティングデータに変わり、左下にファイルネームが表示されます。

PGM-FI セッティング

トラブルシューティング

No.	事象	原因	対策
1	インストールできない	操作の仕方が分からない	1 参照
		CD-ROM ドライブが認識されていない	ドライブを認識させてからもう一度試してください
		CD-ROM 不良 (深い傷がついている等)	HRC サービスへ問い合わせ下さい
2	動作しない	OS とのアンマッチ	対応 OS は Windows98/Me/2000/XP です
3	通信できない	シリアルポートの設定不良	2 参照
		ECU の電源が入っていない	バッテリー接続の確認 バッテリー充電状態の確認 シリアルインターフェースパワースイッチの確認
		通信ケーブル接続不良	接続の確認 (本体との接続の項参照)
		転送のタイミングが悪い	エンジンストップスイッチ ON 後、2 秒以内にリターンキーを押し転送する (データ送信の項参照)
		ECU から読み込んだデータが送信できない	読み込んだままの状態では転送できない設定になっています 送信するには、一度読み込んだデータを保存する必要があります (データ受信の項参照)
4	初めて起動した際、デフォルトファイルが表示されない	英語版にて同事象あり	3 参照
5	ECU データが間違っている	E2P ファイル Open 時に異なる年式の E2P ファイルを開いた	年式を確認し、正しい年式のファイルを選択してください
		ECU データの読み/書き時に本ツールと接続されている車両の年式が異なる時	接続している車両の年式を確認してください。 07CBR600 以外は接続できません
6	ファイル形式が間違っています	読み込んだ E2P ファイルがこわれている	HRC サービスへ問い合わせ下さい

1 : CD-ROM ドライブ



マイコンピュータアイコンをクリックするとウィンドウが、左図のように開きます。
ウィンドウ内に CD-ROM ドライブのアイコンがありますので、そのアイコンをクリックすることによりインストールが開始されます。
CD-ROM のアイコンが表示されない場合は、お使いのコンピュータに CD-ROM ドライブが搭載されていないか、認識していないと言えます。
ご使用のコンピュータの取扱説明書でご確認ください。

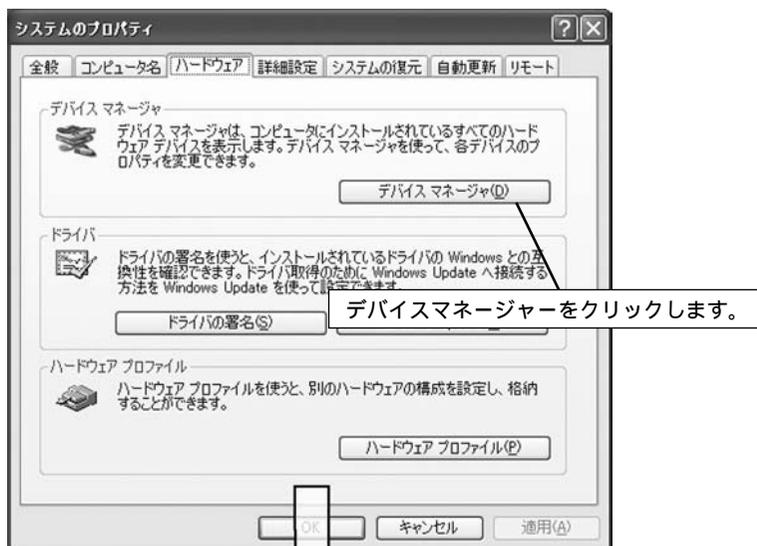
2 : シリアルポートの確認の仕方



コントロールパネルを開きます。
システム情報を表示するを選択し、クリックします。

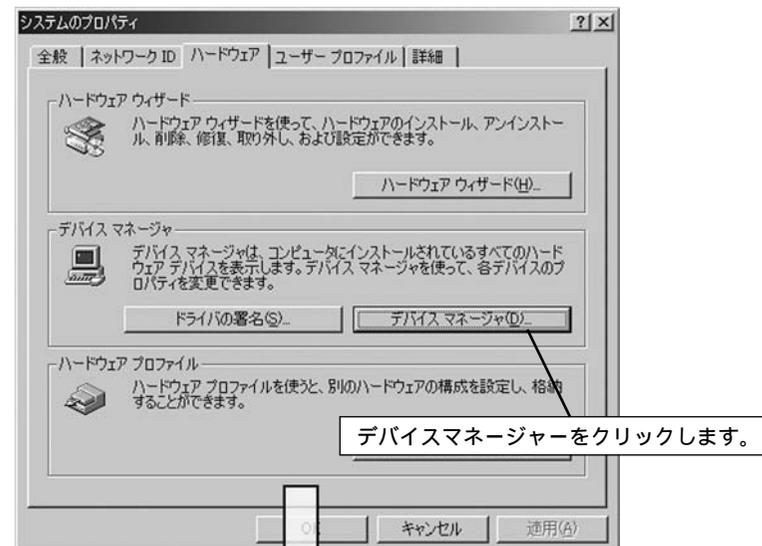
Windows XP

システムのプロパティのウィンドーが開きます。



Windows 2000

システムのプロパティのウィンドーが開きます。



PGM-FI セットアップ

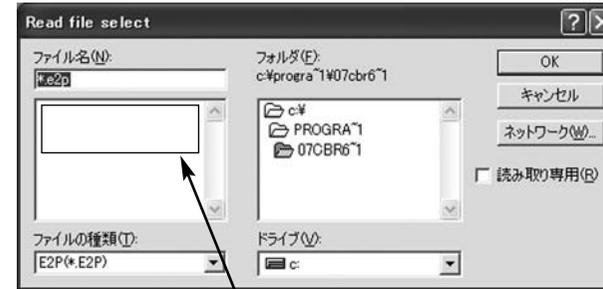
Windows 98

システムのプロパティのウィンドウが開きます。



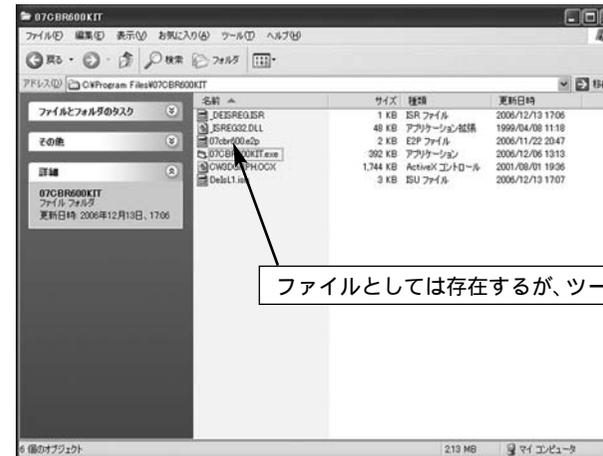
通信ポート (COM1)

3 : 初めて起動して"Open File"を開いた場合



本来ならば、デフォルトの07cbr600.e2pが表示されるが、この図では表示されていない。

解決策：ツールのあるディレクトリを開きファイル名を変更します。



ファイルとしては存在するが、ツール上表示されない。

"07cbr600.e2p"を選択しファイル名を変更できるようにします。
例："07cbr600.p2p" "07cbr6_1.e2p"と変更します。
但し、8文字以内であれば、特にファイル名に指定はありません。
これで開くことが出来るようになります。

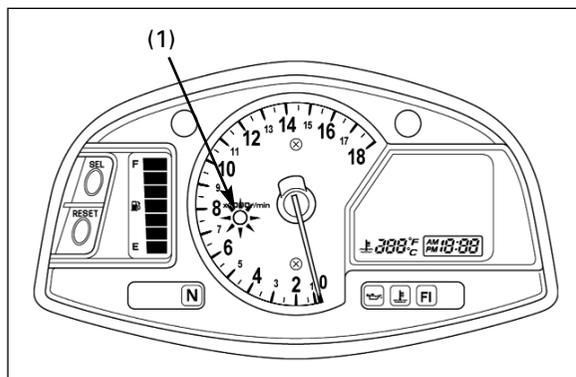


(1) ウィンカススイッチ (ピットレーススピード制御スイッチ)

ウィンカススイッチの機能

このマシンでは、ウィンカススイッチにピットレーススピード制御スイッチの機能を持たせてあります。

スイッチ (ウィンカススイッチ) を左または右に押すと、指定された回転で失火します。



(1) インジケータ

失火している間コンピネーションメータのインジケータが点灯します。

ウィンカススイッチを戻すと失火が止まり、インジケータが消灯します。

ピットレーススピード制御の設定は 23 頁を参照してください。

メモ
